

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	(毎月決算型) 2015年2月10日から2025年1月10日まで (年2回決算型) 2015年4月10日から2025年1月10日まで	
運用方針	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券(以下「公益インフラ債券」)に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月10日(休業日の場合は翌営業日) (年2回決算型) 原則として毎年1月10日および7月10日(休業日の場合は翌営業日) 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

運用報告書(全体版)

イーストスプリング・ インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型) 第14作成期

第77期(決算日2021年8月10日) 第80期(決算日2021年11月10日)
第78期(決算日2021年9月10日) 第81期(決算日2021年12月10日)
第79期(決算日2021年10月11日) 第82期(決算日2022年1月11日)

(年2回決算型)

第14期(決算日2022年1月11日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)」は、上記の決算を行いましたので、ここに各期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〔お問い合わせ先〕

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

最近5作成期の運用実績

決 算 期		基準価額 (分配落)	税 込		債 券 組入比率	純資産 総 額
			分	期 中		
		円	配 金	騰 落 率	%	百万円
第10 作成期	53期(2019年8月13日)	8,291	45	△5.7	93.1	55,239
	54期(2019年9月10日)	8,419	45	2.1	93.5	55,832
	55期(2019年10月10日)	8,442	45	0.8	93.4	55,504
	56期(2019年11月11日)	8,535	45	1.6	92.2	55,398
	57期(2019年12月10日)	8,511	45	0.2	94.9	54,701
	58期(2020年1月10日)	8,582	45	1.4	94.8	54,897
第11 作成期	59期(2020年2月10日)	8,367	45	△2.0	92.4	52,391
	60期(2020年3月10日)	7,636	45	△8.2	93.6	46,790
	61期(2020年4月10日)	7,639	45	0.6	91.6	45,706
	62期(2020年5月11日)	7,672	45	1.0	90.7	45,103
	63期(2020年6月10日)	7,793	45	2.2	91.9	43,860
	64期(2020年7月10日)	7,849	45	1.3	89.9	42,331
第12 作成期	65期(2020年8月11日)	8,193	45	5.0	92.6	41,457
	66期(2020年9月10日)	8,324	45	2.1	93.0	39,999
	67期(2020年10月12日)	8,342	45	0.8	92.0	38,891
	68期(2020年11月10日)	8,200	45	△1.2	90.2	36,787
	69期(2020年12月10日)	8,162	45	0.1	91.7	35,796
	70期(2021年1月12日)	8,187	45	0.9	91.6	35,353
第13 作成期	71期(2021年2月10日)	8,168	45	0.3	90.9	34,610
	72期(2021年3月10日)	8,347	45	2.7	89.7	34,588
	73期(2021年4月12日)	8,326	45	0.3	88.7	33,555
	74期(2021年5月10日)	8,368	45	1.0	88.8	33,376
	75期(2021年6月10日)	8,466	45	1.7	89.4	32,550
	76期(2021年7月12日)	8,295	45	△1.5	90.3	31,241
第14 作成期	77期(2021年8月10日)	8,252	45	0.0	90.3	30,613
	78期(2021年9月10日)	8,345	45	1.7	88.7	30,511
	79期(2021年10月11日)	8,320	45	0.2	91.7	30,014
	80期(2021年11月10日)	8,444	45	2.0	91.6	29,880
	81期(2021年12月10日)	8,312	45	△1.0	87.6	28,776
	82期(2022年1月11日)	8,531	45	3.2	88.6	29,161

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注4) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組入比率
第77期	(期 首) 2021年7月12日	円 8,295	%	—	% 90.3
	7月末	8,259		△0.4	89.5
	(期 末) 2021年8月10日	8,297		0.0	90.3
第78期	(期 首) 2021年8月10日	8,252		—	90.3
	8月末	8,401		1.8	90.9
	(期 末) 2021年9月10日	8,390		1.7	88.7
第79期	(期 首) 2021年9月10日	8,345		—	88.7
	9月末	8,424		0.9	89.0
	(期 末) 2021年10月11日	8,365		0.2	91.7
第80期	(期 首) 2021年10月11日	8,320		—	91.7
	10月末	8,469		1.8	91.0
	(期 末) 2021年11月10日	8,489		2.0	91.6
第81期	(期 首) 2021年11月10日	8,444		—	91.6
	11月末	8,445		0.0	88.4
	(期 末) 2021年12月10日	8,357		△1.0	87.6
第82期	(期 首) 2021年12月10日	8,312		—	87.6
	12月末	8,500		2.3	89.0
	(期 末) 2022年1月11日	8,576		3.2	88.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込	期 中	債 券 組入比率	純資産 総 額
		分配金	騰落率		
10期（2020年1月10日）	円 11,072	円 0	% 0.2	% 95.0	百万円 19,766
11期（2020年7月10日）	10,486	0	△5.3	90.2	14,063
12期（2021年1月12日）	11,303	0	7.8	91.8	11,505
13期（2021年7月12日）	11,831	0	4.7	90.5	10,153
14期（2022年1月11日）	12,568	0	6.2	88.8	9,823

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組入比率
(期 首) 2021年7月12日	円 11,831	% —		% 90.5
7月末	11,780	△0.4		89.5
8月末	12,047	1.8		91.0
9月末	12,147	2.7		89.3
10月末	12,277	3.8		91.4
11月末	12,309	4.0		88.9
12月末	12,456	5.3		89.7
(期 末) 2022年1月11日	12,568	6.2		88.8

(注1) 騰落率は期首比です。

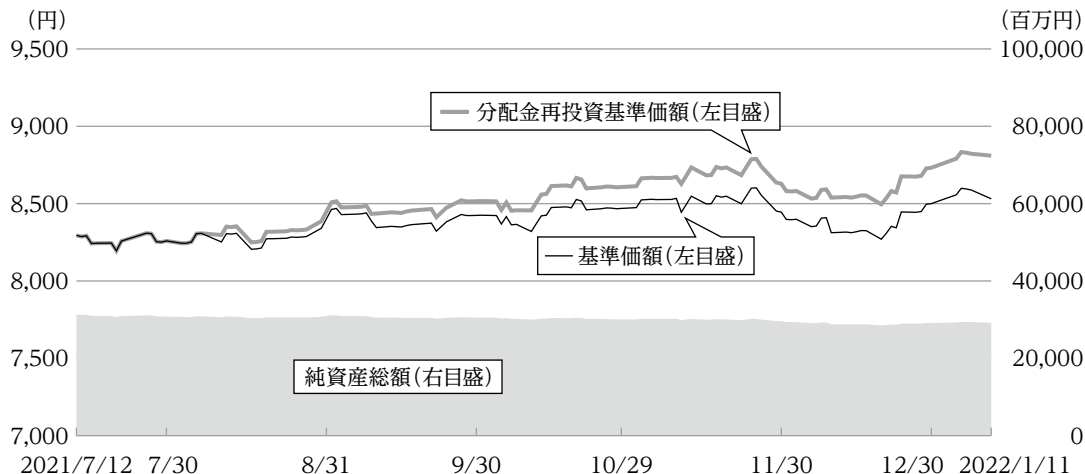
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

運用経過

（毎月決算型）

基準価額等の推移について

（2021年7月13日～2022年1月11日）



第77期首	8,295円
第82期末	8,531円（既払分配金270円）
騰落率	6.2%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

（注3）分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

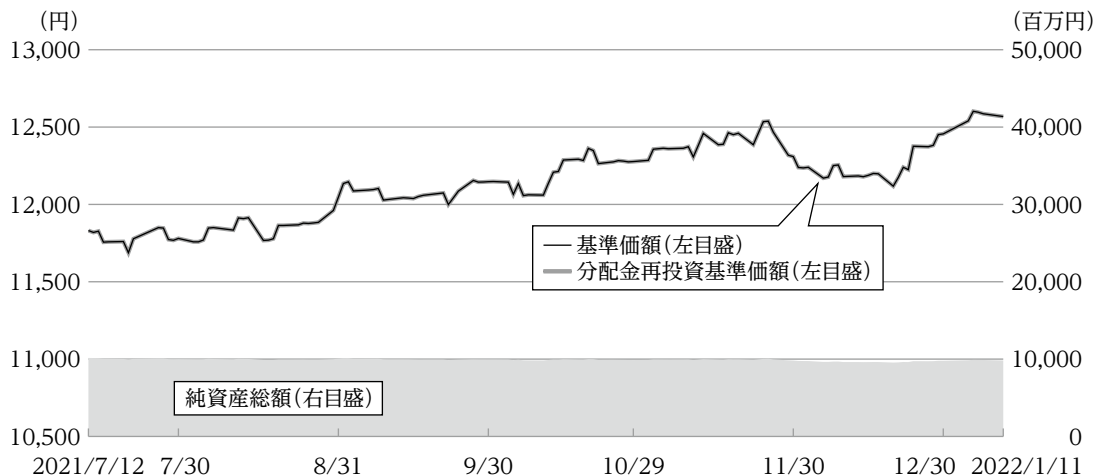
上昇要因

- ・債券からのクーポン収入（利金）。
- ・インドルピーが対円で上昇したこと。

（年2回決算型）

基準価額等の推移について

（2021年7月13日～2022年1月11日）



第14期首	11,831円
第14期末	12,568円（既払分配金0円）
騰落率	6.2%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

（注3）分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・債券からのクーポン収入（利金）。
- ・インドルピーが対円で上昇したこと。

投資環境について

インド債券市場

当（作成）期初から2021年8月下旬にかけて、インド10年国債利回りは小動きで推移しました。その後、8月末のジャクソンホール会議において、米連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長が利上げに慎重な見方を示したことや、インド準備銀行（中央銀行、RBI）が9月実施の国債購入プログラムに10年国債を含める決定をしたことなどを受けてインド国債利回りは低下（価格は上昇）しました。当（作成）期末にかけては、原油価格上昇がインド国内のインフレ圧力を高めるとの警戒感や、RBIが国債購入プログラムを停止したことで2022年以降の利上げを予想する見方が強まり、利回りは上昇傾向で推移しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連

為替市場

インドルピーは、当（作成）期初から2021年8月下旬にかけて方向感に欠ける展開が続きました。8月末のジャクソンホール会議におけるパウエルFRB議長のハト派的な発言が新興国通貨の支援材料となり、ルピーも対米ドルと対円で上昇しました。その後は米国での量的緩和政策の縮小への思惑からルピーは軟調に推移しましたが、タカ派的な内容となった12月の連邦公開市場委員会（FOMC）以降は反発に転じ、通期ではルピー高米ドル安となりました。対円でも、金融政策の方向性の違いなどから、期を通じて緩やかなルピー高円安となりました。

の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。

当（作成）期は、金利上昇に備えて変動利付国債を買い増したほか、スプレッドに妙味のあるインド国外で発行されたインドルピー建て債券（マサラ債）などへの投資を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）
（毎月決算型）

項目	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2021年7月13日 ～2021年8月10日	2021年8月11日 ～2021年9月10日	2021年9月11日 ～2021年10月11日	2021年10月12日 ～2021年11月10日	2021年11月11日 ～2021年12月10日	2021年12月11日 ～2022年1月11日
当期分配金 (円)	45	45	45	45	45	45
(対基準価額比率) (%)	0.542	0.536	0.538	0.530	0.538	0.525
当期の収益 (円)	28	40	29	37	26	40
当期の収益以外 (円)	16	4	15	7	18	4
翌期繰越分配対象額 (円)	849	845	829	823	805	801

（年2回決算型）

項目	第14期
	2021年7月13日 ～2022年1月11日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	4,284

（注1）「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）—印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

新型コロナウイルスではオミクロン株の感染者数が増加しているものの、ワクチン接種の進展、政府による設備投資への注力に加え、コモディティ価格の上昇など金融政策の正常化に繋がる動きが加速しており、RBIによる段階的な金融緩和政策の縮小が予想されます。金融政策の正常化は、流動性供給の削減から始まり、政策金利設定における上限と下限の幅縮小を経て、最終的に政策金利の引き上げへと向かうことが想定されます。実際に、金融政策委員会メンバー内では緩和的なスタンスに反対する意見も出ていることから、今後の政策決定は、成長重視から成長とインフレのバランスに焦点を当てたものになると考えられます。

引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、保守的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

1 万口当たりの費用明細

（2021年7月13日～2022年1月11日）

項目	第77期～第82期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	71円	0.849%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、8,416円です。
（投信会社）	(35)	(0.414)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(35)	(0.414)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.018	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(0)	(0.002)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他1）	(0)	(0.002)	インドの税務代理人に対する手数料
合計	73	0.867	

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

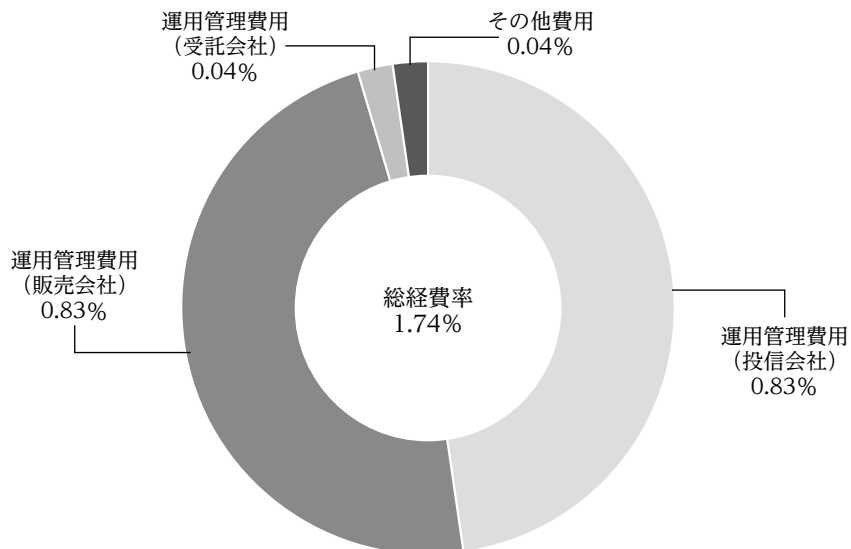
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

（参考情報）

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

売買及び取引の状況

（2021年7月13日から2022年1月11日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 77 期 ～ 第 82 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 1,116	千円 1,492	千口 3,015,067	千円 4,149,454

（注）単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

（2021年7月13日から2022年1月11日まで）

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

（2022年1月11日現在）

親投資信託残高

種 類	前作成期末 (第76期末)	当 作 成 期 末 (第 82 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 23,470,425	千口 20,456,473	千円 29,359,131

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）マザーファンドの2022年1月11日現在の受益権総口数は、27,360,521千口です。

投資信託財産の構成

（2022年1月11日現在）

項 目	当 作 成 期 末 (第82期末)	
	評 価 額	比 率
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千円 29,359,131	% 99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	29,005	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	29,388,136	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（37,917,264千円）の投資信託財産総額（39,345,339千円）に対する比率は96.4%です。

（注3）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年1月11日における邦貨換算レートは、1米ドル=115.34円、1インドルピー=1.57円です。

特定資産の価格等の調査

（2021年7月13日から2022年1月11日まで）

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

	(2021年8月10日)	(2021年9月10日)	(2021年10月11日)	(2021年11月10日)	(2021年12月10日)	(2022年1月11日)現在
項 目	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末
(A) 資 産	30,918,561,109円	30,799,302,057円	30,305,989,436円	30,151,438,580円	29,167,998,676円	29,388,136,484円
コール・ローン等	1,201,592	93,153	224,100	20,034,542	323,262	2,826,998
イーストスプリング・インド公益 インフラ債券マザーファンド(評価額)	30,821,765,712	30,720,254,314	30,221,367,058	30,082,487,524	28,974,338,195	29,359,131,415
未 収 入 金	95,593,805	78,954,590	84,398,278	48,916,514	193,337,219	26,178,071
(B) 負 債	305,505,137	288,103,290	291,282,637	270,971,994	391,795,553	226,942,536
未払収益分配金	166,942,152	164,525,410	162,346,275	159,239,270	155,781,624	153,830,792
未払解約金	96,795,397	79,047,743	84,622,378	68,951,056	193,660,481	29,005,069
未払信託報酬	41,599,965	44,183,337	43,788,004	42,082,231	41,480,668	43,048,772
未払利息	3	—	—	57	—	8
その他未払費用	167,620	346,800	525,980	699,380	872,780	1,057,895
(C) 純資産総額(A-B)	30,613,055,972	30,511,198,767	30,014,706,799	29,880,466,586	28,776,203,123	29,161,193,948
元 本	37,098,256,197	36,561,202,258	36,076,950,106	35,386,504,504	34,618,138,765	34,184,620,589
次期繰越損益金	△ 6,485,200,225	△ 6,050,003,491	△ 6,062,243,307	△ 5,506,037,918	△ 5,841,935,642	△ 5,023,426,641
(D) 受益権総口数	37,098,256,197口	36,561,202,258口	36,076,950,106口	35,386,504,504口	34,618,138,765口	34,184,620,589口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,252円	8,345円	8,320円	8,444円	8,312円	8,531円

(注1) 元本の状況

当ファンドの第77期首元本額は37,661,894,424円、第77～82期中追加設定元本額は436,475,930円、第77～82期中一部解約元本額は3,913,749,765円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第77期0.8252円、第78期0.8345円、第79期0.8320円、第80期0.8444円、第81期0.8312円、第82期0.8531円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

損益の状況

第77期（自2021年7月13日至2021年8月10日）、第80期（自2021年10月12日至2021年11月10日）
 第78期（自2021年8月11日至2021年9月10日）、第81期（自2021年11月11日至2021年12月10日）
 第79期（自2021年9月11日至2021年10月11日）、第82期（自2021年12月11日至2022年1月11日）

項 目	第 77 期	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 742円	△ 588円	△ 238円	△ 2,284円	△ 1,741円	△ 626円
支 払 利 息	△ 742	△ 588	△ 238	△ 2,284	△ 1,741	△ 626
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	46,404,661	549,090,747	112,757,213	639,740,074	△ 260,216,323	941,170,250
売 買 益	50,278,585	555,067,845	114,323,504	648,904,849	4,637,730	944,368,305
売 買 損	△ 3,873,924	△ 5,977,098	△ 1,566,291	△ 9,164,775	△ 264,854,053	△ 3,198,055
(C) 信 託 報 酬 等	△ 41,767,585	△ 44,362,517	△ 43,967,184	△ 42,255,631	△ 41,654,068	△ 43,233,887
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	4,636,334	504,727,642	68,789,791	597,482,159	△ 301,872,132	897,935,737
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 2,914,900,701	△ 2,967,173,123	△ 2,571,081,758	△ 2,551,502,231	△ 2,034,760,265	△ 2,392,980,692
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 3,407,993,706	△ 3,423,032,600	△ 3,397,605,065	△ 3,392,778,576	△ 3,349,521,621	△ 3,374,550,894
(配 当 等 相 当 額)	(2,361,614,838)	(2,269,372,502)	(2,224,155,532)	(2,128,033,802)	(2,059,616,659)	(1,972,949,674)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,769,608,544)	(△ 5,692,405,102)	(△ 5,621,760,597)	(△ 5,520,812,378)	(△ 5,409,138,280)	(△ 5,347,500,568)
(G) 計 (D+E+F)	△ 6,318,258,073	△ 5,885,478,081	△ 5,899,897,032	△ 5,346,798,648	△ 5,686,154,018	△ 4,869,595,849
(H) 収 益 分 配 金	△ 166,942,152	△ 164,525,410	△ 162,346,275	△ 159,239,270	△ 155,781,624	△ 153,830,792
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 6,485,200,225	△ 6,050,003,491	△ 6,062,243,307	△ 5,506,037,918	△ 5,841,935,642	△ 5,023,426,641
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 3,468,470,227	△ 3,439,704,561	△ 3,454,106,068	△ 3,418,035,129	△ 3,412,928,747	△ 3,389,503,522
(配 当 等 相 当 額)	(2,301,324,841)	(2,252,875,712)	(2,167,786,023)	(2,102,942,277)	(1,996,448,050)	(1,958,166,737)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,769,795,068)	(△ 5,692,580,273)	(△ 5,621,892,091)	(△ 5,520,977,406)	(△ 5,409,376,797)	(△ 5,347,670,259)
分 配 準 備 積 立 金	850,063,783	837,445,159	826,390,302	810,088,483	792,049,686	781,628,960
繰 越 損 益 金	△ 3,866,793,781	△ 3,447,744,089	△ 3,434,527,541	△ 2,898,091,272	△ 3,221,056,581	△ 2,415,552,079

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (注4) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。
 (注5) 分配金の計算過程

第77期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(106,465,631円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,361,801,362円)および分配準備積立金(850,063,783円)より、分配対象収益は3,318,330,776円(10,000口当たり894円)であり、うち166,942,152円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第78期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(147,853,449円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,269,547,673円)および分配準備積立金(837,445,159円)より、分配対象収益は3,254,846,281円(10,000口当たり890円)であり、うち164,525,410円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第79期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(105,845,272円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,224,287,026円)および分配準備積立金(826,390,302円)より、分配対象収益は3,156,522,600円(10,000口当たり874円)であり、うち162,346,275円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第80期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(133,982,717円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,128,198,830円)および分配準備積立金(810,088,483円)より、分配対象収益は3,072,270,030円(10,000口当たり868円)であり、うち159,239,270円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第81期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(92,374,498円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,059,855,176円)および分配準備積立金(792,049,686円)より、分配対象収益は2,944,279,360円(10,000口当たり850円)であり、うち155,781,624円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第82期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(138,878,164円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,973,119,365円)および分配準備積立金(781,628,960円)より、分配対象収益は2,893,626,489円(10,000口当たり846円)であり、うち153,830,792円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

分配金のお知らせ

決算期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
1万口当たり分配金（税引前）	45円	45円	45円	45円	45円	45円

- ◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。
- ◇個人の受益者については、原則として20.315%の税率で源泉徴収（申告不要）されます。
- ◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

お知らせ

該当事項はありません。

1万口当たりの費用明細

（2021年7月13日～2022年1月11日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	103円	0.849%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、12,169円です。
（投信会社）	（ 50）	（0.414）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（ 50）	（0.414）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 3）	（0.022）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.025	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 2）	（0.013）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	（ 1）	（0.004）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	（ 1）	（0.006）	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他1）	（ 0）	（0.002）	インドの税務代理人に対する手数料
合計	106	0.874	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

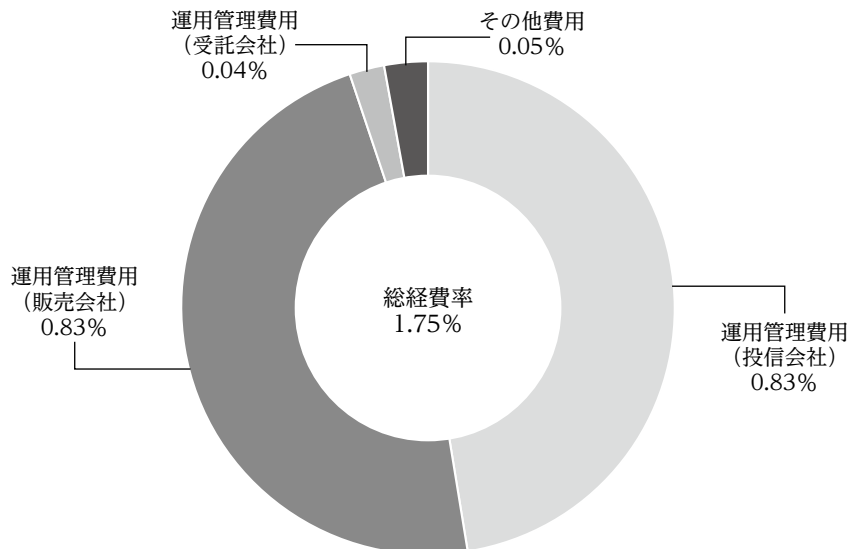
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（年2回決算型）

売買及び取引の状況

（2021年7月13日から2022年1月11日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	30,278	42,929	770,714	1,059,550

（注）単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

（2021年7月13日から2022年1月11日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

（2022年1月11日現在）

親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	7,644,483	6,904,047	9,908,689

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）マザーファンドの2022年1月11日現在の受益権総口数は、27,360,521千口です。

投資信託財産の構成

（2022年1月11日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	9,908,689	99.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	51,510	0.5
投 資 信 託 財 産 総 額	9,960,199	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（37,917,264千円）の投資信託財産総額（39,345,339千円）に対する比率は96.4%です。

（注3）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年1月11日における邦貨換算レートは、1米ドル=115.34円、1インドルピー=1.57円です。

特定資産の価格等の調査

（2021年7月13日から2022年1月11日まで）

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2022年1月11日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	9,960,199,418円
コール・ローン等	1,039,624
イーストスプリング・インド公益 インフラ債券マザーファンド(評価額)	9,908,689,470
未 収 入 金	50,470,324
(B) 負 債	136,731,729
未 払 解 約 金	51,509,948
未 払 信 託 報 酬	84,163,803
未 払 利 息	3
そ の 他 未 払 費 用	1,057,975
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	9,823,467,689
元 本	7,816,351,164
次 期 繰 越 損 益 金	2,007,116,525
(D) 受 益 権 総 口 数	7,816,351,164口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	12,568円

(注1) 元本の状況

期首元本額 8,582,180,700円

期中追加設定元本額 99,907,415円

期中一部解約元本額 865,736,951円

(注2) 1口当たり純資産額は1,2568円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

損益の状況

当期（自2021年7月13日 至2022年1月11日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,522円
支 払 利 息	△ 1,522
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	653,041,204
売 買 益	679,782,294
売 買 損	△ 26,741,090
(C) 信 託 報 酬 等	△ 85,221,778
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	567,817,904
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,006,365,590
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	432,933,031
(配 当 等 相 当 額)	(1,185,373,106)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 752,440,075)
(G) 計 (D + E + F)	2,007,116,525
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	2,007,116,525
追 加 信 託 差 損 益 金	432,933,031
(配 当 等 相 当 額)	(1,185,703,856)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 752,770,825)
分 配 準 備 積 立 金	2,163,183,650
繰 越 損 益 金	△ 589,000,156

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注5) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(243,853,763円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,185,703,856円)および分配準備積立金(1,919,329,887円)より、分配対象収益は3,348,887,506円(10,000口当たり4,284円)ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

お知らせ

該当事項はありません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券 マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日：2022年1月11日）
（計算期間：2021年1月13日～2022年1月11日）

「イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド」の第7期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてインドの公益およびインフラ関連の債券（以下「公益インフラ債券」）に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率		債券組入比率	純資産総額
		騰落率	騰落率		
3期(2018年1月10日)	円 12,074	% 8.2	% 90.9	% 90.9	百万円 90,147
4期(2019年1月10日)	11,163	△ 7.5	87.4	87.4	76,725
5期(2020年1月10日)	12,259	9.8	94.2	94.2	75,199
6期(2021年1月12日)	12,707	3.7	91.0	91.0	47,218
7期(2022年1月11日)	14,352	12.9	88.0	88.0	39,268

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

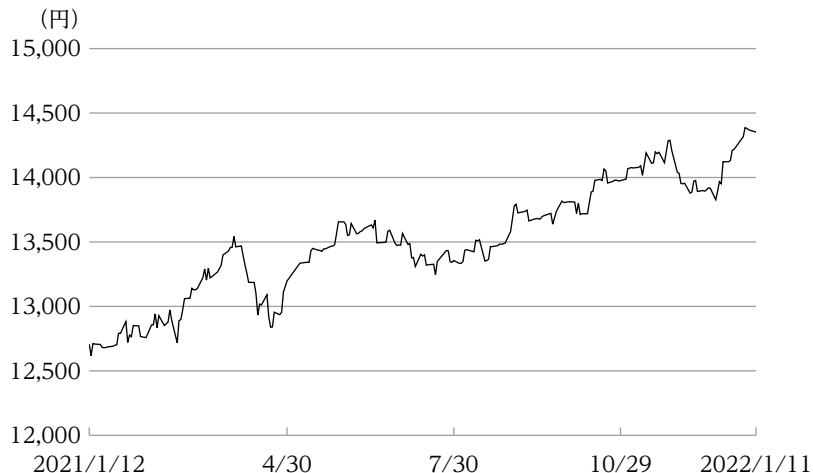
年月日	基準価額	騰落率		債券組入比率
		騰落率	騰落率	
(期首) 2021年1月12日	円 12,707	% —	% 91.0	% 91.0
1月末	12,791	0.7	89.0	89.0
2月末	12,893	1.5	89.7	89.7
3月末	13,458	5.9	90.0	90.0
4月末	13,198	3.9	87.2	87.2
5月末	13,656	7.5	90.4	90.4
6月末	13,477	6.1	90.0	90.0
7月末	13,356	5.1	89.4	89.4
8月末	13,679	7.6	90.8	90.8
9月末	13,810	8.7	89.0	89.0
10月末	13,976	10.0	90.9	90.9
11月末	14,032	10.4	88.3	88.3
12月末	14,218	11.9	88.9	88.9
(期末) 2022年1月11日	14,352	12.9	88.0	88.0

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額の推移について

(2021年1月13日～2022年1月11日)



第7期首	12,707円
第7期末	14,352円
騰落率	12.9%

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因



- ・債券からのクーポン収入（利金）。
- ・インドルピーが対円で上昇したこと。

投資環境について

インド債券市場

期初から2021年3月上旬にかけてインド10年国債利回りは上昇（価格は下落）傾向となりました。2月上旬に発表された2021/22年度（2021年4月～2022年3月）国家予算案で大幅な財政拡大方針が示され国債の需給悪化懸念が高まったことや、世界的な金利上昇が利回り上昇の要因となりました。その後はインド国債が国際的な債券指数に組み入れられるとの期待や、4月にインド準備銀行（中央銀行、RBI）が国債購入プログラムを発表したことから、利回りは低下に転じました。7月から期末にかけては、原油価格上昇がインド国内のインフレ圧力を高めるとの警戒感や、RBIが国債購入プログラムを停止したことで2022年以降の利上げを予想する見方が強まり、利回りは上昇傾向で推移しました。

ポートフォリオについて

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄

為替市場

インドルピーは、期初に株式市場などへの資金流入を背景に上昇しましたが、その後は米国債利回りが上昇し、米ドル高が進行する中で伸び悩み展開となりました。2021年4月にRBIが国債購入プログラムを発表すると市場では量的緩和と受け止められ、ルピーは大幅に下落しました。5月下旬にかけて、インド国内の新型コロナウイルス感染者数の減少を背景とした経済活動再開への期待からルピー高となる局面もありましたが、原油価格上昇への警戒が燃る中、ルピーの上昇は続きませんでした。期末にかけては、米国での量的緩和政策縮小への思惑からルピーは軟調に推移し、通期でルピー安米ドル高となりました。

一方、対円では金融政策の方向性の違いなどから、期を通じてルピーは上昇しました。

柄選択により、運用を行いました。

当期は、金利上昇に備えて変動利付国債を買い増したほか、インド国外で発行されたインドルピー建て債券（マサラ債）などへの投資を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

今後の運用方針について

新型コロナウイルスではオミクロン株の感染者数が増加しているものの、ワクチン接種の進展、政府による設備投資への注力に加え、コモディティ価格の上昇など金融政策の正常化に繋がる動きが加速しており、RBIによる段階的な金融緩和政策の縮小が予想されます。金融政策の正常化は、流動性供給の削減から始まり、政策金利設定における上限と下限の幅縮小を経て、最終的に政策金利の引き上げへと向かうことが想定されます。実際に、金融政策委員会

メンバー内では緩和的なスタンスに反対する意見も出ていることから、今後の政策決定は、成長重視から成長とインフレのバランスに焦点を当てたものになると考えられます。

引き続き、発行企業の信用度や市場での流動性を重視しつつ、保守的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

1 万口当たりの費用明細

(2021年1月13日～2022年1月11日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	5円	0.034%	(a) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、13,545円です。
(保管費用)	(4)	(0.030)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他1)	(0)	(0.004)	インドの税務代理人に対する手数料、ライセンス更新料等
合計	5	0.034	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買及び取引の状況

(2021年1月13日から2022年1月11日まで)

公社債

			買付額	売付額
			千インドルピー	千インドルピー
外国	インド	国債証券	10,455,621	12,046,202
		特殊債券	1,313,279	559,917
		社債券（投資法人債券を含む）	2,096,693	6,573,084 (2,060,900)

(注1) 金額は受渡し代金です（経過利子分は含まれておりません。）。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券（投資法人債券を含む）には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

利害関係人との取引状況等

(2021年1月13日から2022年1月11日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2022年1月11日現在)

公社債

(A) 種類別開示

外国（外貨建）公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
イ ン ド	千インドルピー 20,853,900	千インドルピー 22,012,533	千円 34,559,677	% 88.0	% —	% 53.8	% 19.7	% 14.5
合 計	20,853,900	22,012,533	34,559,677	88.0	—	53.8	19.7	14.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注4) 一印は組入れなしです。

(注5) BB格以下組入比率の計算においては、S&Pおよびムーディーズの発行体格付けをもとに、当社が独自の基準で採用した格付けを用いています。なお、無格付けの債券組入比率は20.6%です。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

組入有価証券明細表

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(インド)		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
国債証券	6.22% INDIA GOVT BOND	6.22	500,000	467,500	733,975	2035/03/16
	6.64% INDIA GOVT BOND	6.64	1,750,000	1,690,850	2,654,634	2035/06/16
	6.67% INDIA GOVT BOND	6.67	1,250,000	1,208,125	1,896,756	2035/12/15
	7.57% INDIA GOVT BOND	7.57	1,200,000	1,271,760	1,996,663	2033/06/17
	7.68% INDIA GOVT BOND	7.68	19,000	19,919	31,273	2023/12/15
	7.88% INDIA GOVT	7.88	10,000	10,793	16,945	2030/03/19
	INDIA GOVERNMENT BOND	4.62	2,250,000	2,261,475	3,550,515	2033/09/22
特殊債券 (除く金融債)	6.85% NABARD	6.85	1,250,000	1,246,365	1,956,793	2031/03/21
	7.43% NABARD	7.43	500,000	517,011	811,707	2030/01/31
	8.52% HOUSING & URBAN DE	8.52	478,000	529,084	830,662	2028/11/28
	8.83% EX-IM BANK OF IND	8.83	25,000	25,970	40,773	2023/01/09
	8.87% EX-IM BANK OF IND	8.87	100,000	109,161	171,383	2025/03/13
普通社債券 (含む投資法人債券)	2% TATA STEEL	2.0	670,000	1,228,601	1,928,903	2022/04/23
	6.92% INDIAN RAILWAY FIN	6.92	500,000	495,707	778,260	2031/08/29
	7.3% NATL HIGHWAYS AUTH	7.3	450,000	453,779	712,433	2022/05/18
	7.48% INDIAN RAILWAY FIN	7.48	250,000	259,047	406,703	2029/08/13

銘柄		当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(インド)		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
	7.55% INDIAN RAILWAY FIN	7.55	250,000	260,236	408,571	2029/11/06
	7.63% POWER FINANCE CORP	7.63	350,000	368,154	578,002	2026/08/14
	7.7% NATL HIGHWAYS AUTH	7.7	550,000	574,248	901,570	2029/09/13
	7.95% SIKKA PORTS & TERM	7.95	1,000,000	1,053,159	1,653,459	2026/10/28
	8.12% NHPC LTD	8.12	1,250,000	1,353,546	2,125,067	2029/03/22
	8.14% NUCLEAR POWER CORP	8.14	50,000	54,031	84,828	2026/03/25
	8.14% NUCLEAR POWER CORP	8.14	100,000	108,512	170,364	2027/03/25
	8.23% INDIAN RAILWAY FIN	8.23	250,000	271,755	426,655	2029/03/29
	8.23% PUNJAB NATIONAL BK	8.23	75,000	79,029	124,076	2025/02/09
	8.27% RURAL ELECTRIFICAT	8.27	320,000	339,791	533,472	2025/02/06
	8.3% REC LIMITED	8.3	750,000	813,721	1,277,542	2029/03/23
	8.37% NATL HIGHWAYS AUTH	8.37	100,000	107,793	169,236	2029/01/20
	普通社債券 (含む投資法人債券)	8.52	100,000	106,842	167,742	2025/03/03
	8.78% NHPC	8.78	50,000	52,107	81,808	2023/02/11
	8.83% INDIAN RAIL FIN	8.83	20,000	20,927	32,855	2023/03/25
	8.85% NHPC	8.85	10,900	10,937	17,172	2022/02/11
	8.9508% PIPELINE INFRAS	8.9508	1,350,000	1,438,607	2,258,613	2024/03/22
	9.15% COASTAL GUJARAT PO	9.15	750,000	761,975	1,196,301	2022/06/14
	9.15% ICICI BANK	9.15	400,000	432,524	679,063	2024/08/06
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	99,000	100,056	157,089	2026/06/30
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	45,000	45,523	71,472	2026/12/31
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	14,000	14,126	22,178	2027/12/31
	9.17% NTPC LTD	9.17	18,000	19,617	30,799	2024/09/22
	9.25% ICICI BANK	9.25	250,000	271,493	426,244	2024/09/04
	9.7% COASTAL GUJARAT POW	9.7	1,000,000	1,059,152	1,662,868	2023/08/25
	SUNDARAM HOME FINANCE	5.12	500,000	499,510	784,231	2024/09/27
合 計					34,559,677	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2022年1月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 34,559,677	% 87.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,785,662	12.2
投 資 信 託 財 産 総 額	39,345,339	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産 (37,917,264千円) の投資信託財産総額 (39,345,339千円) に対する比率は96.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年1月11日における邦貨換算レートは、1米ドル=115.34円、1インドルピー=1.57円です。

特定資産の価格等の調査

(2021年1月13日から2022年1月11日まで)

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年1月11日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	39,460,649,963円
コール・ローン等	3,657,752,065
公 社 債(評価額)	34,559,677,786
未 収 入 金	521,651,120
未 収 利 息	650,641,126
前 払 金	12,110,104
前 払 費 用	58,817,762
(B) 負 債	191,990,181
未 払 金	115,337,600
未 払 解 約 金	76,648,395
未 払 利 息	4,186
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	39,268,659,782
元 本	27,360,521,799
次 期 繰 越 損 益 金	11,908,137,983
(D) 受 益 権 総 口 数	27,360,521,799口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C/D)	14,352円

- (注1) 元本の状況
- | | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 期首元本額 | 37,159,762,800円 |
| 期中追加設定元本額 | 298,718,789円 |
| 期中一部解約元本額 | 10,097,959,790円 |
| 期末における元本の内訳 | |
| イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型) | 20,456,473,952円 |
| イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型) | 6,904,047,847円 |

(注2) 1口当たり純資産額は1,4352円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2021年1月13日 至2022年1月11日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,638,575,844円
受 取 利 息	2,640,058,061
支 払 利 息	△ 1,482,217
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,564,051,707
売 買 益	3,971,523,093
売 買 損	△ 1,407,471,386
(C) 信 託 報 酬 等	△ 14,414,587
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	5,188,212,964
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	10,058,531,160
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	98,099,135
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 3,436,705,276
(H) 計 (D+E+F+G)	11,908,137,983
次 期 繰 越 損 益 金(H)	11,908,137,983

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

お知らせ

該当事項はありません。